

第 81 年度 第 2 回 水産部委員会

5 月 22 日 10 時 30 分から本部地下大会議室において開催され、水産部門の活動と令和 8 年度水産部門労働協約改定交渉および年間臨時手当交渉の経過を報告し、質疑応答の後に確認された。

釜石隆志水産部専任部長の司会で開会し、資格審査の結果、常任役員 2 人および委員 24 人が出席していることが報告され、満場の拍手で会議成立が確認された。

次に、議長団に岡本裕二高松支部長、末武孝介ニッスイマリン工業株式会社職場委員を選出し、岡本議長からの議長団登壇のあいさつの後、議事に入った。

前回の水産部委員会以降の水産部門の活動として、松本順一水産部長から▽水産庁との漁業労働問題協議会▽水産政策審議会第資源管理分科会▽水産政策審議会総会・企画部会▽遠洋マグロ関係支部連絡会議の経過など▽全国中型いか釣漁撈長連絡協議会▽第 1 回漁業育成就労協議会▽漁船マルシップ管理委員会▽漁業・養殖業技能評価委員会一などについて報告した。

続いて、姫路司インドネシア代表から、インドネシア代表部の活動について報告した。

質疑では、代議員から▽第 1 回漁業育成就労協議会での地域監理委員会・監理支援機関の位置づけ▽S T C W－F 条約批准に伴う船員法改正による基本訓練▽特定漁船員の労働時間、休日および定員に関する政令など▽第 1 回漁業育成就労協議会での全国統一基準▽インドネシアでの出国前集会時の意見▽技能実習制度の上位互換の意味一などについて質問があり、それぞれ本部答弁により理解を深め、活動報告は満場の拍手で確認された。

次に、高橋健二水産局長から令和 8 年度水産部門労働協約改定交渉および年間臨時手当交渉の経過を報告した。

続いて各支部から、配布資料作成以降に妥結した交渉状況ならびに未解決となっている労働協約改定交渉および年間臨時手当交渉の状況が説明された後、令和 8 年度水産部門労働協約改定交渉および年間臨時手当交渉の経過は満場の拍手で確認された。

最後に、鈴木順三組合長代行から閉会のあいさつがなされた後、末武孝介副議長から議長団降壇あいさつがあり、12 時に閉会した。

「海員だより」